

5 本機の電源を管理する

5.1 電源キーの使い方

購入時の状態でお使いの場合

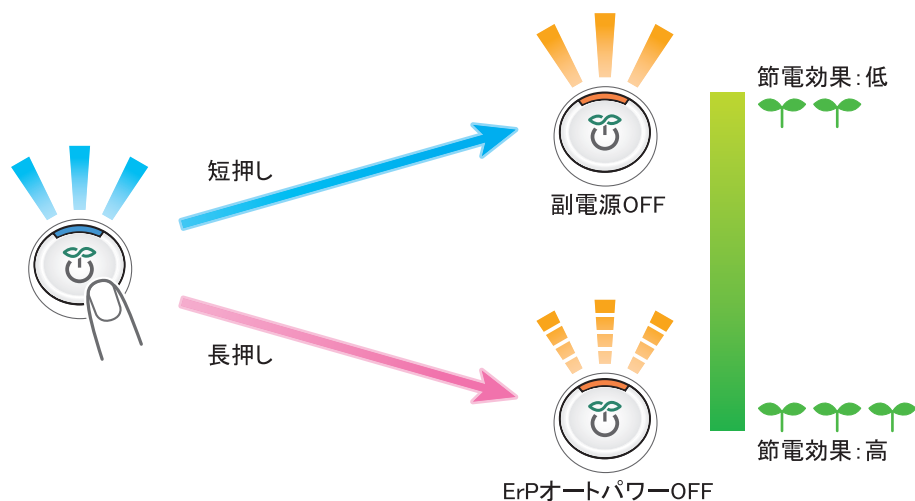
購入時の状態でお使いの場合の電源キーの使い方について詳しくは、「ユーザズガイド [はじめに] / [電源を ON/OFF する]」をごらんください。

副電源 OFF キーとしてお使いの場合

電源キーは、本機を節電状態に切換えるときに操作します。



電源キーを押したときの、本機の節電状態は次のとおりです。電源キーは押す長さによって、移行する節電状態が異なります。



電源キー	本機の状態	LED の状態	説明
短押し	副電源 OFF	点灯： オレンジ色	消費電力を抑え、高い節電効果を得られます。 副電源 OFF 状態のとき、データやファクスは受信できませんが、原稿の読みみや印刷はできません。 副電源 OFF 状態のときに受信したデータやファクスは、通常モードに復帰すると印刷されます。 副電源 OFF 状態から本機を通常モードに復帰させるには、もう一度電源キーを押してください。

電源キー	本機の状態	LEDの状態	説明
長押し	ErP オート パワー OFF	点滅： オレンジ色	副電源 OFF 状態よりも高い節電効果を得られ、主電源を OFF にしたときに近い状態となります。 ErP オートパワー OFF 状態のとき、データやファクスの受信や、原稿の読み込み、印刷はできません。 ErP オートパワー OFF 状態から本機を通常モードに復帰させるには、もう一度電源キーを押します。

重要

ファクス機能をご利用の場合、ErP オートパワー OFF 状態にすると、ファクスを受信できなくなりますのでご注意ください。

5.2 電源キー／パワーセーブの動作を設定する（管理者向け）

電源キーの使い方や、パワーセーブモードの動作を設定します。

[設定メニュー] - [管理者設定] - [環境設定] - [電源 / パワーセーブ設定] で、次の設定をします。

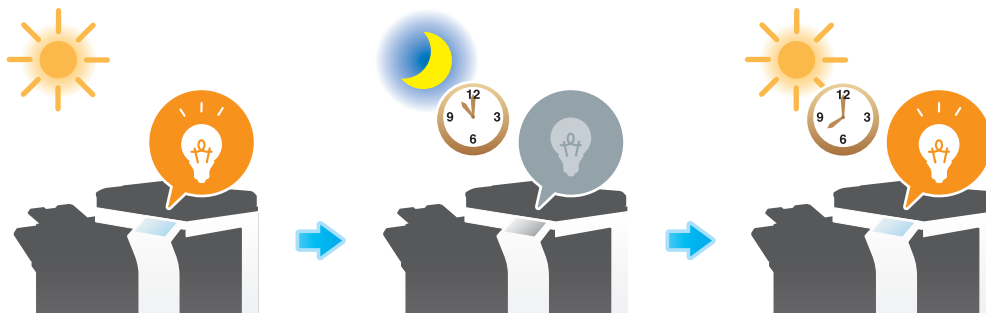
設定	説明
[低電力設定]	本機を操作しなくなってから、低電力モードに自動的に移行するまでの時間を変更します。 低電力モードでは、 タッチパネル の表示を消して、消費電力を抑えます。 初期値は [1] 分です（設定範囲：[1] ～ [60] 分）。
[スリープ設定]	本機を操作しなくなってから、スリープモードに自動的に移行するまでの時間を変更します。 スリープモードは、低電力モードよりも高い節電効果を得られますが、通常モードへ復帰するまでの時間は、低電力モードから復帰するよりも長くなります。 初期値は [1] 分です（設定範囲：[1] ～ [60] 分）。
[電源キー設定]	操作パネルの電源キーを、副電源 OFF キーとして使うか、パワーセーブキーとして使うかを選びます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [副電源 OFF]：電源キーを短く押すと、副電源 OFF 状態に移行します。長く押すと、副電源 OFF 状態よりも節電効果の高い ErP オートパワー OFF 状態（主電源を OFF にしたときに近い状態）に移行します。 ・ [パワーセーブ]：電源キーを短く押すと、パワーセーブモード（低電力またはスリープ）に移行します。長く押すと、副電源 OFF 状態に移行します。 初期値は [パワーセーブ] です。
[パワーセーブモード節電切替]	購入時の状態でお使いの場合に、操作パネルの電源キーを押したときに切替えるパワーセーブモードの種類を選びます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [低電力]：低電力モードに切替えます。タッチパネルの表示を消して、消費電力を抑えます。 ・ [スリープ]：スリープモードに切替えます。低電力モードよりも高い節電効果を得られますが、通常モードへ復帰するまでの時間は、低電力モードから復帰するよりも長くなります。 初期値は [低電力] です。
[パワーセーブ移行]	パワーセーブモード中に、本機がファクスやコンピューターからの印刷ジョブを受信したとき、印刷後にパワーセーブモードに切替えるタイミングを選びます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [通常]：[低電力設定] および [スリープ設定] の設定時間で切替えます。 ・ [即時]：印刷後にすぐにパワーセーブモードに切替えます。 初期値は [即時] です。
[スリープ中の消費電力]	スリープモード中の消費電力を抑制するかどうかを選びます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [抑制する]：スリープモード中の消費電力をさらに抑制します。通常は [抑制する] を選びます。 ・ [抑制しない]：[抑制する] に設定していて、ネットワーク接続時の応答が悪いなどのトラブルがあった場合に選びます。 初期値は [抑制する] です。
[ファクス / スキャン時省電力]	スリープモードまたは副電源 OFF 状態から、コピーモード以外のモードに復帰するときに、省電力を優先するかどうかを選びます。 ファクス / スキャンのように印刷を行わないモードに復帰するときは、本体内部の定着ユニットの温度調節を行わないことで、消費電力を抑えます。 [管理者設定] - [環境設定] - [リセット設定] - [システムオートリセット] の [優先機能] で [コピー] 以外を選んだ場合に設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [省電力優先]：通常モードに復帰するときに、定着ユニットの温度を調節しません。 ・ [標準]：通常モードに復帰するときに、定着ユニットの温度を調節します。 初期値は [標準] です。
[パネルタッチによる電力復帰]	低電力モードまたはスリープモードになっている場合、 タッチパネル に手や人が近付くことで、低電力モードまたはスリープモードから復帰させるかどうかを選びます。 [ON] を選ぶと、センサーの感度を調整できます。マイナス側に設定すると感度が悪く（検知距離が短く）なり、プラス側に設定すると感度が良く（検知距離が長く）なります。 初期値は [ON]、調整値は [0] です。

5.3 決まった時間に節電モードに切替える（管理者向け）

ウィークリータイマーを使う

ウィークリータイマーは、あらかじめ指定した時刻に、通常モードと節電モード（スリープまたは ErP オートパワー OFF）を自動で切替える機能です。本機では、通常モードと節電モードを切替えるスケジュールを、オフィスの使用状況に合わせて自動設定する学習機能を利用することもできます。

ウィークリータイマーを導入することで、昼休みや夜間、休日など、オフィスの使用状況に合わせて効率的に節電ができます。



参照

ウィークリータイマーの設定方法については、「ユーザーズガイド [機能 / 設定キーの説明] / [設定メニュー]」をごらんください。

設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [環境設定] - [ウィークリータイマー設定]

ウィークリータイマーの作動中に本機を使う

ウィークリータイマーを使うと、本機が節電モードのときの使用をパスワードで制限できます。ここでは、本機の使用をパスワードで制限している場合に、本機を一時的に使う手順を説明します。

- 1 電源キーを押します。



- パスワードを入力し、[OK] をタップします。



- 節電モードに戻るまでの時間をテンキーで入力し、[OK] をタップします。
→ 数字の入力エリアをタップするとテンキーを表示します。



トップメニューが表示されます。